

F SPORT PARTS (TRD)

MS153-48005 スポーツマフラー

'10.04~新規制対応商品 取付・取扱要領書

この度は F SPORT PARTS (TRD) スポーツマフラーをお買い上げ頂きありがとうございます。

本書には上記品の取付要領と取扱いについて記載してあります。

取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け・取扱いを実施してください。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行なってください。

■品番・適合

品番	適合車種	型式	エンジン	年式	備考
MS153-48005	RX 450h	GYL20W/GYL25W	2GR-FXS	'15. 10 ~	HYBRID

・ 本商品の取付けは、別売りリヤディフューザー(MS313-48006/7/8)との同時装着が必須になります。

・ 本商品の取付けは、別売りリヤディフューザー装着後に行ってください。

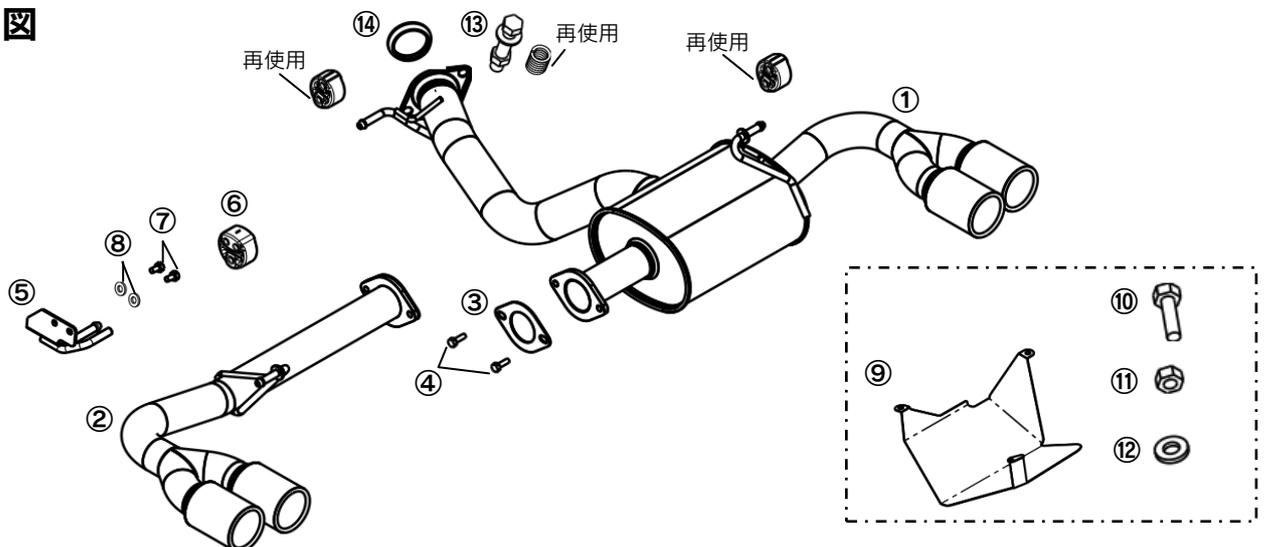
・ 開封時に必ず構成部品がある事、外観、傷、凹み等をご確認ください。車両取付け後は対応しかねる場合がございます。

・ 最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp>

■構成部品

	部品名	数量	備考
①	テールパイプマフラー RH	1	
②	テールパイプマフラー LH	1	
③	ガスケット (プレート)	1	テールパイプ X テールパイプ締結用
④	フランジボルト	2	M10XL35 テールパイプ X テールパイプ締結用
⑤	サポートブラケット	1	
⑥	マフラーサポート	1	
⑦	ボルト	2	M8XL15 サポートブラケット締結用
⑧	ワッシャ	2	M8 サポートブラケット締結用
⑨	プロテクター	1	
⑩	ボルト	1	M6XL15 プロテクター締結用
⑪	ナット	1	M6 プロテクター締結用
⑫	ワッシャ	2	M6 プロテクター締結用
⑬	テールパイプボルト	2	M10XL70 CTRパイプ X テールパイプ締結用
⑭	ガスケット (テーパー)	1	CTRパイプ X テールパイプ締結用
⑮	取付取扱要領書 (本書)	1	

■構成図



■取付け上の注意

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用頂ける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承ください。
- (2) 保安基準適合の為、純正部品と同様に触媒やシールド等を取外さず必ず、適合車種に取付けてください。

- △警告 (1) 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**を確保してください。
(灯火類の地上高についても確認を実施してください。)
- △警告 (2) 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**の確保を行ってください。
- △警告 (3) 本商品の分解・加工は絶対にしないでください。破損や事故の原因となります場合があります。
- △警告 (4) 本品を適合車種以外には絶対に使用しないでください。破損や故障の原因となります場合があります。
- △注意 (1) 本商品の取付け・交換作業は、必ずレクサス販売店で行ってください。
- △注意 (2) 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
- △注意 (3) 交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行ってください。火傷や事故の原因となります場合があります。
- △注意 (4) 取付け後は換気の良い所でエンジンを始動し、排気漏れや干渉が無い事を必ず確認してください。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。

■取扱上の注意 (ご使用になるお客様へ)

- △警告 (1) 車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm**を確保して下さい。
(灯火類の地上高に付きまして確認を実施して下さい)
- △警告 (2) 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず、現車にて**最低地上高90mm**の確保を行って下さい。
- △注意 (1) 取付け直後の走行時、多少の異臭発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない場合は取付工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となります場合があります。
- △注意 (2) 本商品を取付けますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまでは安全な速度で十分注意して走行して下さい。事故の原因となります場合があります。
- △注意 (3) 枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐停車はしないで下さい。火災や事故の原因となります場合があります。
- △注意 (4) 運転中に不具合(異音、振動等)が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、お取付けのレクサス販売店に連絡をして指示を受けて下さい。そのまま走行を続けると破損や事故の原因となります場合があります。
- △注意 (5) マフラーに凍結防止剤(塩化カルシウム等)が付着した場合は、速やかに流水洗浄を行って下さい。付着したままでご使用になられますとマフラーの変色や錆の原因となります。
- △注意 (6) 通常の使用過程に於いても排気管出口(テール出口部)は冷熱の繰返しにより、色味に変化が現れる場合がありますが、異常ではございません。
- △注意 (7) 走行直後のマフラーは非常に高温となっております。触れると火傷の恐れがあります。荷物の出入れやお子様の接近等、十分に注意して下さい。

* 本商品はテールパイプに特殊な化学発色を施しています、下記の事項にご注意下さい。

- * 表面を損傷しないようにして下さい。同じ色調を得られる補修剤がありませんので、損傷すると補修が出来ません。
- * 汚れが目立ちやすい傾向にあります。油脂・埃・泥・薬品・手垢及び指紋等の付着により汚れた場合は、柔らかいスポンジ・布等を使用し、市販の中性洗剤(30~50倍に薄めて使用)や石鹼水で洗い流して下さい。それでも汚れが落ちない場合は、アルコール等の有機溶剤で拭取り、水洗い、から拭きを行って下さい。
尚、塩素系の洗剤、タイル洗浄剤、ステンレス研磨剤、酸性研磨剤、クレンザー、コンパウンド、コンパウンドを含んだワックス等の使用は、変色・退色の原因となりますので使用しないで下さい。
- * 異種の金属(鉄釘・針金等)が付着しますと、貴い錆が発生しますので速やかに取除いて下さい。その際に錆落とし用の薬剤は使用しないで下さい。

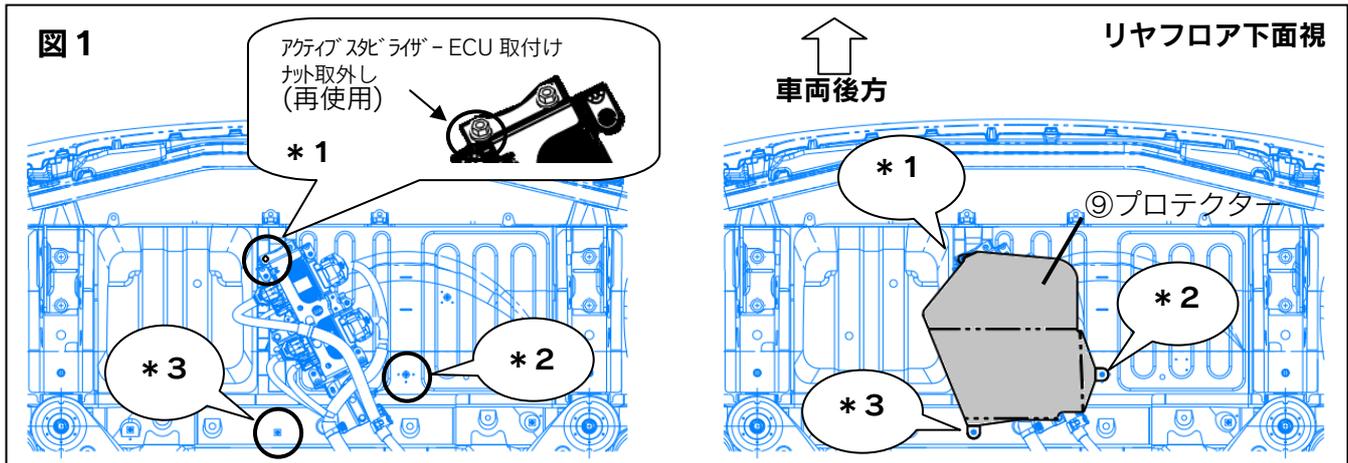
仕様

エキゾーストパイプ : パイプ部 $\phi 70$ (SUS)
 出口テール : テール部 $\phi 85$ デュアル (SUS)

取付け準備

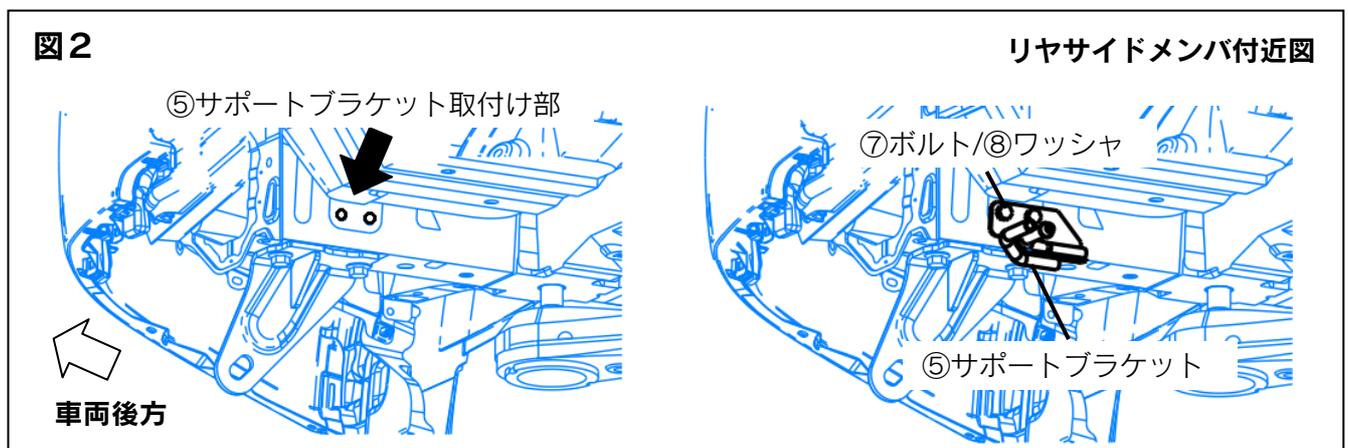
- (1) 車両から純正のテールパイプ/リヤアンダーカバーを修理書 (トヨタ自動車株発行) に従って取外す。
 ※車両から取り外した CTR パイプとテールパイプ締結用のスプリングは再使用します。
- (2) 図 1 左図のように、車両からアクティブスタビライザー ECU のブラケット取付けナットを取外す。(1 箇所)
- (3) 図 1 右図のように、⑨プロテクターを*1・2・3に組付け、*1に(2)で取外した車両ナット、*2に⑪ナット⑫ワッシャ、*3に⑩ボルト⑫ワッシャを使用して規定トルクで取付ける。

***1 締付トルク : 7.5 N・m *2・3 締付トルク : 5 N・m**

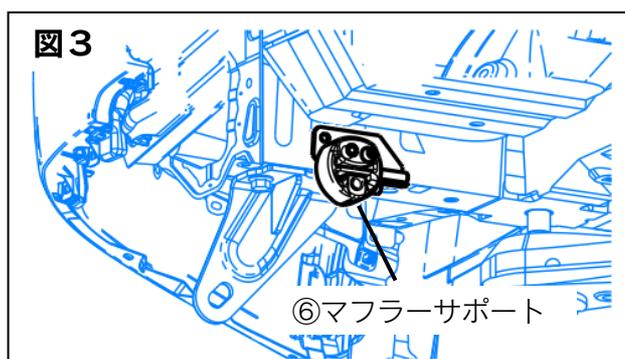


- (4) 図 2 のように、リヤサイドメンバー LH に⑤サポートブラケットを⑦ボルト⑧ワッシャを使用して規定トルクで締付ける。

締付トルク : 12.5 N・m



- (5) 図 3 のように、(4) で取付けたサポートブラケットに⑥マフラーサポートを取付ける。

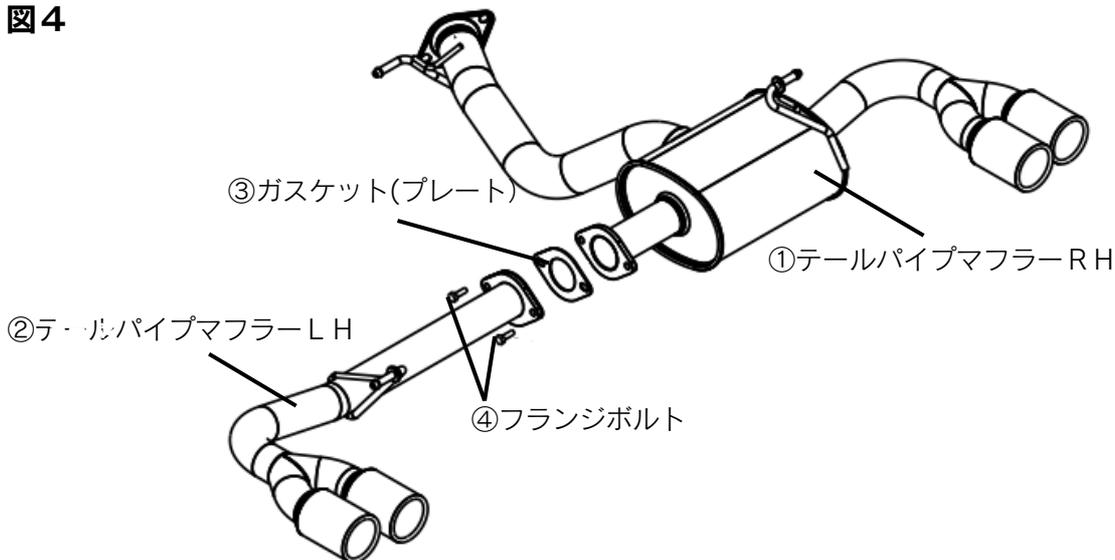


△注意

- ・⑥マフラーサポートを取付ける際には絶対に潤滑油等を使わないでください。
- ・走行時に横方向への力が加わった場合にマフラー後端とディフューザーが干渉する可能性があります。

(6) 図4のように、①②テールパイプマフラー③ガスケット（プレート）④フランジボルトを使用してテールパイプマフラーを仮締めで組立てを行う。

図4



■ 取付要領

(1) 取付け準備 (6) で組立てたテールパイプマフラーASSYを、車両から取外したスプリングと⑬テールパイプボルト(※1)を使用し、車両CTRパイプに⑭ガスケット(テーパ)介して取付ける。

▲注意：車両CTRパイプのガスケットは、必ず構成品の⑭ガスケット(テーパ)に交換してください。

※1



- ・⑬テールパイプボルトに付属のナットをネジ部の1番奥まで締まっていることを確認する。(ナットが純正ボルトのスプール代わりになります)
- ・⑬テールパイプボルトのワッシャ部に車両スプリングを入れて、車両CTRテールパイプのフランジ側からボルトを入れて締結する。

(2) テールパイプマフラーASSYに車両のマフラーサポート(2箇所)と取付け準備(5)で取付けた⑥マフラーサポートを組付けて、車両CTRパイプとテールパイプマフラーASSYを規定トルクで本締めする。

締付トルク29N・m

▲注意

マフラーサポートを組付ける際には絶対に潤滑油等を使わないでください。
マフラーサポートに潤滑剤が付着していると、走行時に横方向への力が加わった場合にマフラー後端とリヤディフューザーが干渉する場合があります。

(3) テールパイプマフラーASSYの出口がリヤディフューザーと干渉せず、極端な偏りの無い事を確認しながら、取付け準備(6)で仮締めした④フランジボルトを規定トルクで本締めする。

締付トルク29N・m

(4) 取付け後、走行する前にアイドル状態で15分程の暖機運転を行い、5Km程の通常走行を実施し各部のボルトに緩み・干渉・排気漏れ・テール部の位置を確認する。

■ 取付け後の確認

- ・装着後は、定期的(定期点検時等)に取付け部に緩みなどが無いことを点検してください。